

めぶきフィナンシャルグループ

2021年度第1四半期

決算説明資料



# 2021年度第1四半期 決算概要

業績ハイライト	3
決算概要／経常利益の増減要因	4～5
トピックス	6～11
① 生産性向上に向けた構造改革の進展状況	
② 個人・法人向けコンサルティング機能の強化	
③ IT企画・ITコンサルの強化	
④ 市場運用・ストラクチャードファイナンス・新分野等	
⑤ グループ収益・経費・OHR	
貸出金／貸出金利回り・資金利益／預金	13～16
預り資産／法人役務	17～18
有価証券運用・政策保有株式／経費・OHR	19～20
信用コスト／金融再生法開示債権・延滞貸出金	21～22
配当／株主還元・自己資本比率	23
2021年度業績予想	24
【ご参考】東京証券取引所の新市場区分について／計数編	25～31

\* 特に表示がないものについては「銀行(単体)合算」の計数をもとに作成しています。

\* 西暦で表示しています。



# 2021年度第1四半期決算概要／トピックス

# 業績ハイライト

## 2021年度第1四半期決算

	2021年度1Q実績	前年同期比	通期業績予想に対する進捗率
FG連結純利益 <sup>(*1)</sup>	187億円	+57億円	49.4%
コア業務純益(銀行合算) <sup>(*2)</sup>	198億円	+36億円	-
経費(銀行合算)	276億円	△5億円	-
信用コスト(銀行合算)	6億円	△24億円	3.2%

- めぶきFG連結純利益<sup>(\*1)</sup>は187億円(前年同期比+57億円)。
- 本業の収益力を示すコア業務純益<sup>(\*2)</sup>は、有価証券利鞘の改善やコンサルティング機能強化による役務取引等利益の増加により、前年同期比36億円の増益。
- 経費は、店舗ネットワークの見直し・最適化の前倒し等、構造改革の進展により前年同期比5億円減少。
- 信用コストは、前年度に予防的な引当を実施したことにより前年同期比24億円の減少。

(\*1)親会社株主に帰属する当期純利益 (\*2)投信解約損益を除く

## 2021年度業績見通し

	通期業績予想
FG連結純利益 <sup>(*3)</sup>	380億円

- 通期業績予想に対する進捗率は、第1四半期時点で49%の水準にあるが、依然として先行き不透明な状況にあることから、通期業績見通しは当初公表値(5月12日公表)から変更なし。

(\*3)親会社株主に帰属する当期純利益

# 決算概要

## めぶきFG連結

(億円)

	2021年度 1Q実績	前年同期比	通期業績予想に 対する進捗率
連結粗利益	497	+38	-
資金利益	376	+20	-
(うち預貸金利息差)	(265)	(+0)	-
役務取引等利益	106	+9	-
特定取引利益	13	+8	-
その他業務利益	0	+1	-
営業経費	283	△12	-
与信関係費用(信用コスト)	8	△26	-
株式等関係損益	54	△3	-
経常利益	266	+74	48.5%
特別損益	0	+6	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	187	+57	49.4%

【FG連結調整】 △6億円

有価証券連単簿価差に伴う調整額など

## 【銀行単体合算】

(億円)

	2021年度 1Q実績	前年同期比	通期業績予想に 対する進捗率
業務粗利益	476	+29	-
資金利益	383	+18	-
(うち預貸金利息差)	(263)	(+0)	-
役務取引等利益	90	+12	-
その他業務利益他	1	△0	-
(うち国債等債券損益)	△2	△2	-
経費	276	△5	-
実質業務純益	199	+35	-
コア業務純益	202	+37	-
コア業務純益(除く投信解約損益)	198	+36	-
一般貸倒引当金繰入額(a)	0	△9	-
業務純益	198	+45	-
臨時損益	52	+16	-
うち不良債権処理額(b)	5	△15	-
うち株式等関係損益	54	△5	-
経常利益	251	+61	47.3%
信用コスト(銀行合算) (a) + (b)	6	△24	-

## 【グループ会社】

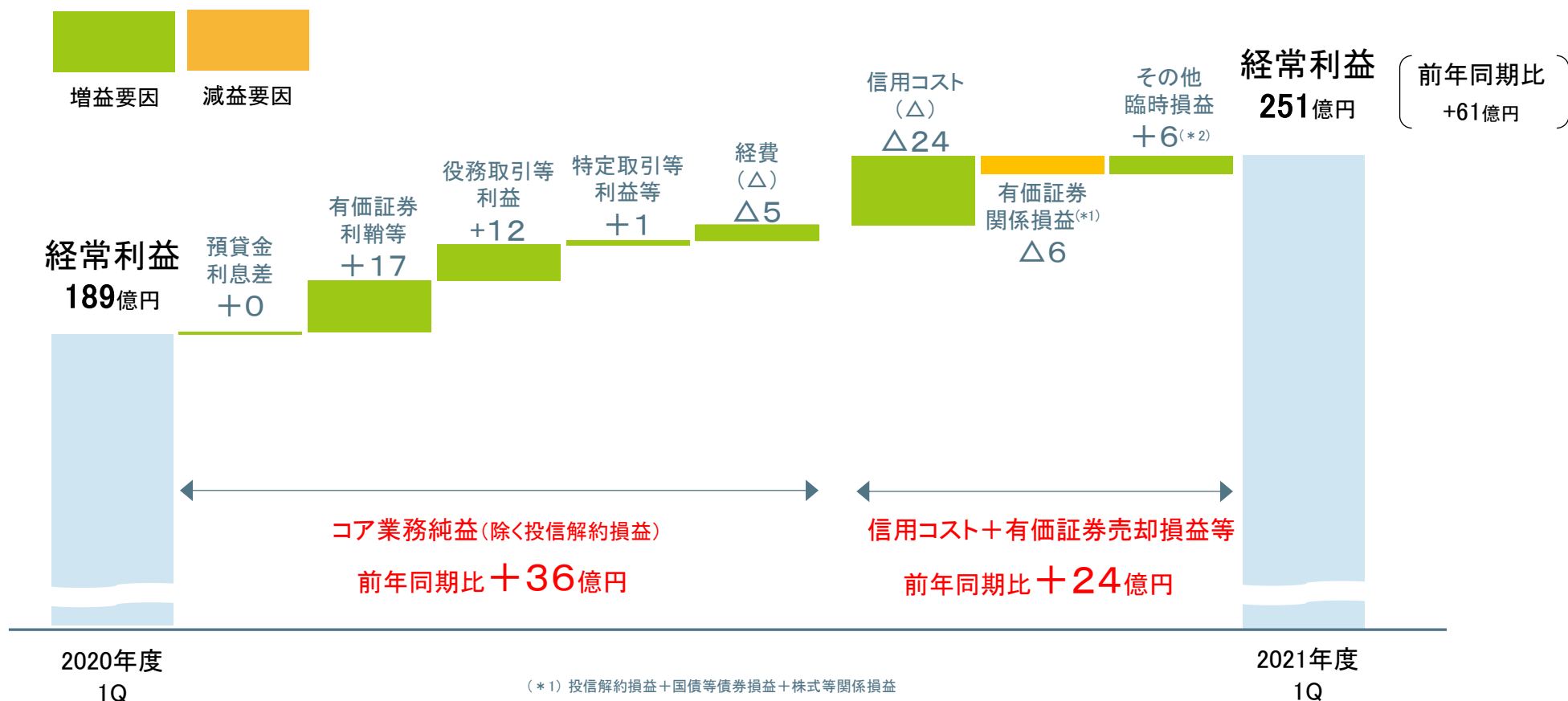
(億円)

	2021年度 1Q実績	前年同期比
常陽銀行(連結)	131	+44
足利銀行(連結)	51	△0
めぶきリース	2	+0
めぶき証券	5	+4
めぶき信用保証	4	△0
めぶきカード	△0	△1
	194	+47

# 経常利益の増減要因

有価証券利鞘、役務取引等利益が増益要因となるほか、構造改革進展による経費削減により本業の収益力であるコア業務純益(除く投信解約損益)は+36億円と大きく改善。信用コストの減少もあり、経常利益(銀行合算)は前年同期比+61億円。

## 経常利益(銀行合算)の増減要因(億円)



(\*1) 投信解約損益+国債等債券損益+株式等関係損益

(\*2) 退職給付関連費用(▲)▲5億円等。

# トピックス① ～生産性向上に向けた構造改革の進展状況～

組織・業務の再編・最適化を前倒しで実現。生産性を向上させ人員を捻出。  
コンサルティングや市場運用等の分野に人員を投入し、機能を強化。

## 人員捻出・投入施策の計画と進捗

### 3年間の計画 (2019年度～2021年度)

事務・システム部門の統一化・合理化	△450人	捻出 △1,000人
本部・子会社の集約・業務効率化	△130人	
営業店業務のBPR・デジタル化	△200人	
リアル店舗ネットワークの最適化	△220人	

コンサルティング機能の強化	+100人	投入 +200人
IT企画・ITコンサルの強化	+40人	
市場運用・スタッフ・新分野等	+60人	

ネット △800人

### 2020年度累計実績 (2019年度～2020年度(2年累計))

捻出  
△770人  
(事務・システム部門  
△300人)  
(店舗ネットワーク  
△300人)

- システム部門の再編、店舗ネットワークの最適化等を進め、累計770人を捻出。
- 2020年1月の基幹システム統合完了、事務・システム部門を再編。FG一体運営により生産性の高い経営基盤を構築。
- 店舗ネットワークの最適化は、当初計画を上回る効率化を見込む。(当初計画:国内店舗の20%を効率化→中計3年累計の見通し:同62%以上を効率化。)

投入  
+170人  
(コンサルティング分野  
+140人)

- コンサルティング機能の強化 P7、P8
- IT企画・ITコンサルの強化 P9
- 市場運用・スタッフ・新分野等 P10

ネット △600人

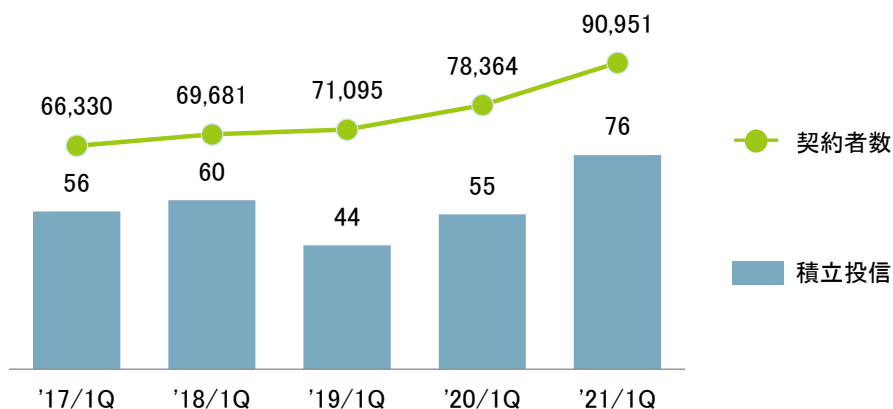
次ページ以降で説明

# トピックス②-1 ～個人向けコンサルティング機能の強化～

資産運用の裾野は着実に拡大。銀証連携強化および運用ニーズ捕捉により契約者数・残高が増加。  
高齢化社会における資産管理・承継ニーズに対するコンサルティングも強化。

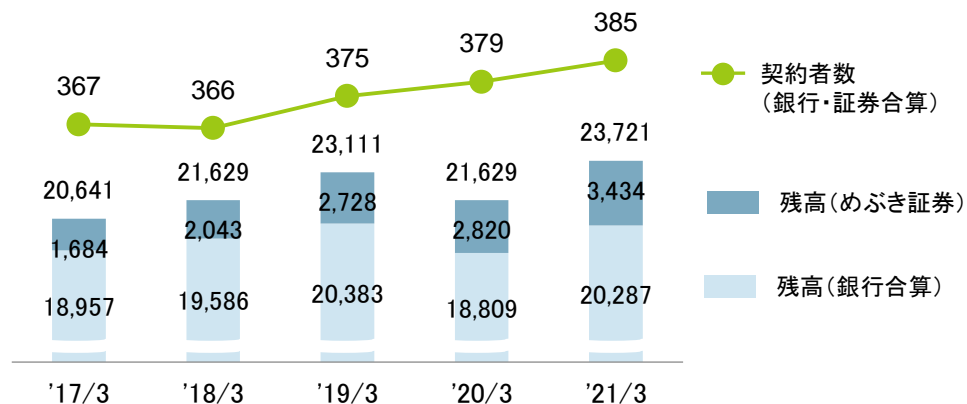
## 積立投信の積立額・契約者数(銀行合算)

(契約者数:人、積立額:億円)

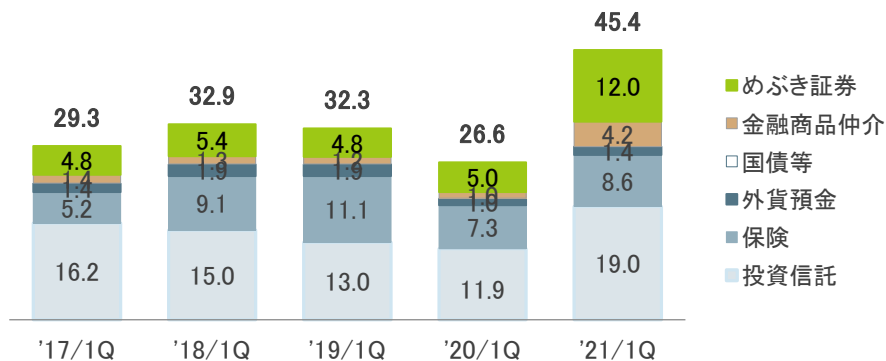


## 預り資産 契約者数・残高

(契約者数:千人、残高:億円)



## 預り資産関連手数料(銀行・証券合算)(億円)



## 資産管理・承継支援

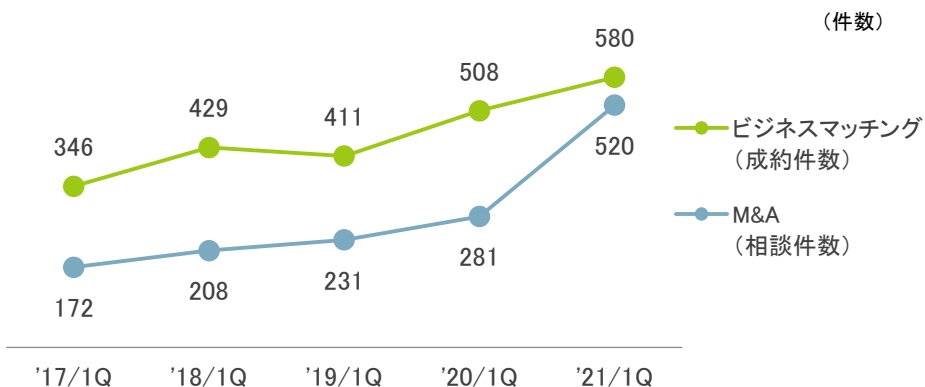
- 資産管理
  - ✓ 代理人取引の拡充、身元保証、任意後見サービスの提供、「後見制度支援預金」取り扱い開始
- 資産承継
  - ✓ 遺言信託や遺言代用信託、保険を活用したコンサルティングの提供、土日限定の相続相談専用の窓口設置



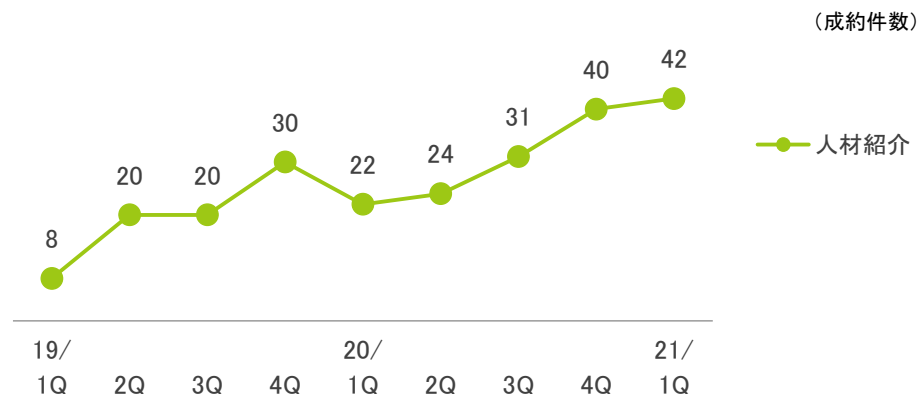
# トピックス②-2 ～法人向けコンサルティング機能の強化～

コンサルティング機能強化により、ビジネスマッチングやM&A、人材紹介の相談・成約件数は増加。コロナ禍で顕在化した課題に対する解決策の事例集を策定。お客さまと共有し、より具体的なコンサルティングメニューを提供することで今後の成長をサポート。

## ビジネスマッチング、M&A



## 人材紹介



## 課題解決に向けた対応事例集の活用



### <コンサルティング例>

- ✓ 今後の事業展望や戦略等の核心的なテーマに踏み込んでディスカッションを実施。「組織管理」「M&A」「アフターコロナの人材採用」のニーズが多い。
- ✓ 「企業DX」ではIT取組に関する取引先の現状把握から戦略的なIT化の予定(人手不足の代替/勤怠管理・営業部門発注システム、在庫管理など)についてディスカッションを実施。
- ✓ ディスカッションから得られた様々なコンサルティングニーズに対して、最適なソリューションを提案・提供。

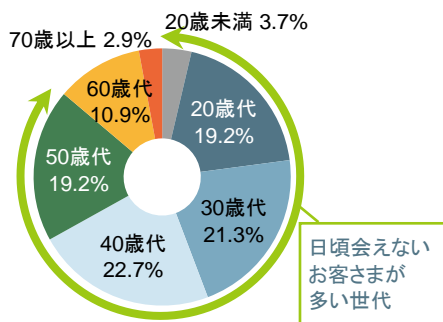
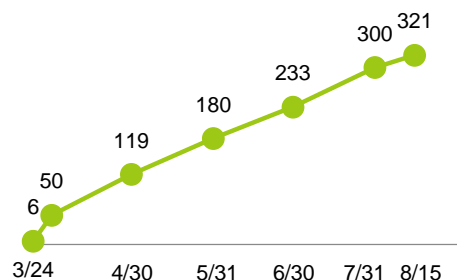
# トピックス③ ～IT企画・ITコンサルの強化～

バンキングアプリのユーザー数は順調に拡大。日頃会えない世代にも着実に浸透。  
8月より、店頭業務の効率化・デジタル化の起点となる店頭受付ナビを足利銀行全店で導入。  
ITコンサルは、顧客と一緒に課題を明確化し最適なソリューションを提供。

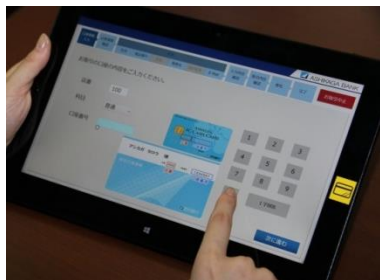
## アプリユーザー数・年代別割合

- 「常陽バンキングアプリ」と「足利銀行アプリ」は32万ユーザーを突破。
- 導入の狙い「顧客接点の確保」は日頃会えない世代にも着実に浸透。

— 累計ユーザー数 (千人)



## 店頭受付ナビゲーション



- タブレット端末で各種申込手続きが可能。
- 常陽銀行が2017年に開発・稼働開始。業務知識の浅い行員でも各種手続きの処理が可能・処理時間の大幅な短縮を実現  
→ 少人数運営・資産運用等の相談業務を中心とした新形態店舗「リテールステーション」化拡大のインフラ。
- 足利銀行は8月より全店舗で利用を開始。

## 取引先のデジタル化支援

- ✓ 行員のIT知識向上を図るため、ITコーディネーター(43名※)、ITパスポート(314名※)等の資格取得を推進。 ※8月19日現在
- ✓ 外部との連携によるノウハウの共有・コンサルティング協業を通じて高品質なサービスを開発。
- ✓ NPO法人ITコーディネーター協会ほか、外部IT事業者48社と提携。グループ各社と外部提携事業者等と連携し、最適なソリューションを提供。

### 【事例1 生産管理システム導入による生産性向上・業務効率化の支援】

- ✓ 顧客の現状分析・課題共有について、仮説立てを行いディスカッションを実施。
- ✓ 生産管理や社内の横断的な情報共有が十分にできていないとの課題を共有し、デジタル化による生産管理システムを導入。

### 【事例2 AI-OCRを活用した業務効率化の支援】

- ✓ 経理業務において、請求書と納品書の突合作業を目チェックで行っており業務効率に課題を感じていた。
- ✓ AI-OCRを導入し請求書と納品書のデータ入力作業を削減。
- ✓ 紙をAI-OCRによりデータ化することは、企業のテレワーク導入の課題解消にも寄与。

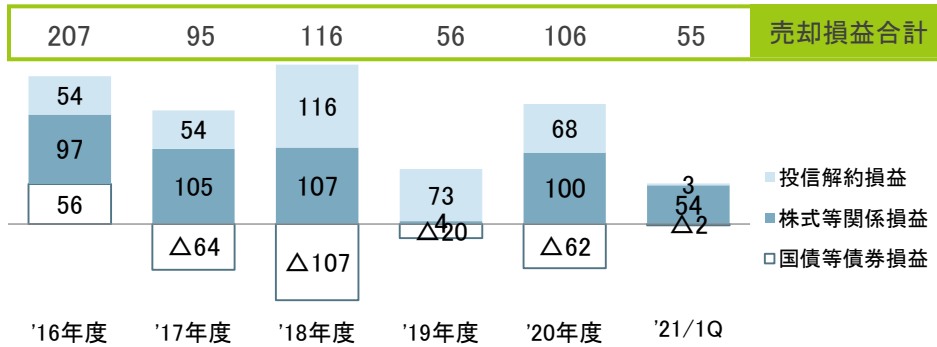
# トピックス④ ～市場運用・ストラクチャードファイナンス・新分野等～

有価証券運用は市場動向を的確に捉え売却益を確保する一方、評価益は良好な水準を維持。  
 ストラクチャードファイナンス・新分野等に対し、積極的に投融資を実施。脱炭素化の潮流を踏まえ  
 引き続き規模拡大を図る。

## 有価証券 売却損益 (\*1)

\*1 投信解約損益+国債等債券損益+株式等関係損益

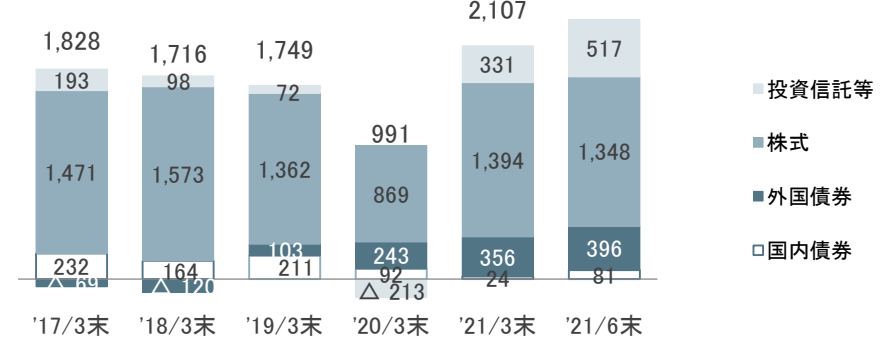
(億円)



## 有価証券 評価損益 (\*2)

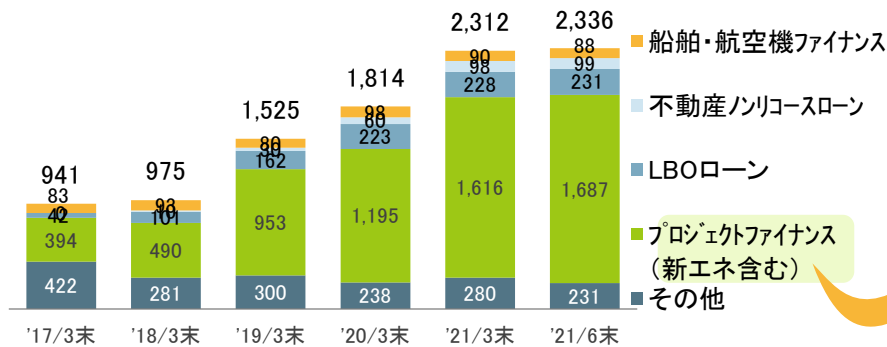
\*2 FG連結・その他有価証券

(億円)

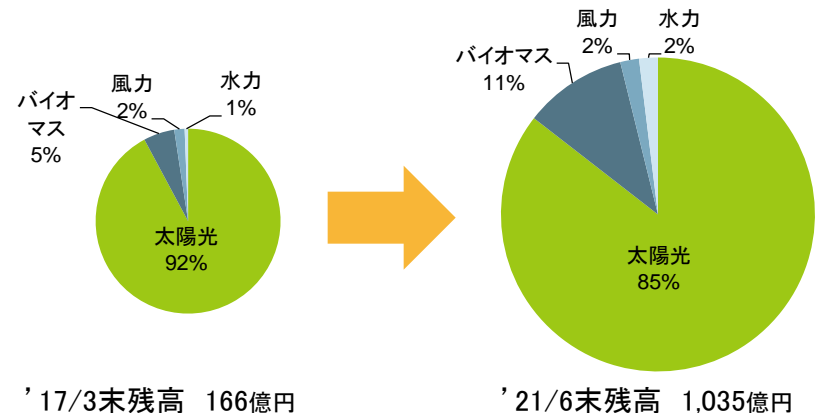


## ストラクチャードファイナンス・新分野等

(億円)



## 新エネルギー分野への融資残高

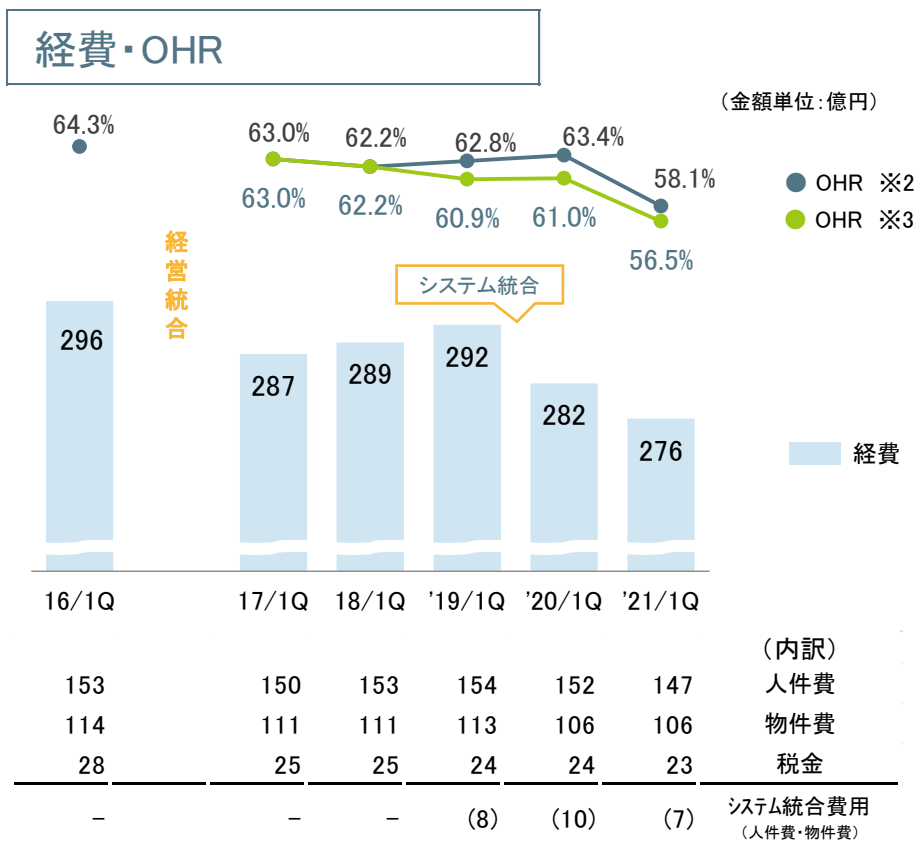


# トピックス⑤ ～グループ収益・経費・OHR～

構造改革を前倒しで実現し、経費を計画以上に削減。

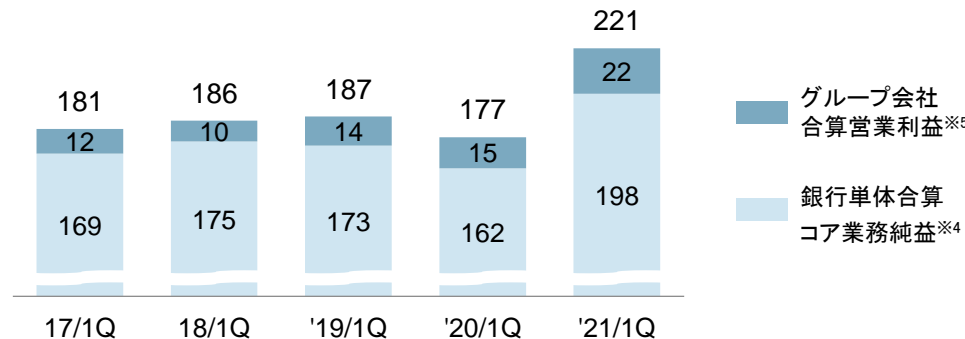
有価証券利鞘や役務取引等利益も増加し、本業の収益力であるコア業務純益<sup>※1</sup>は増益に転じた。

※1 投信解約損益を除く。

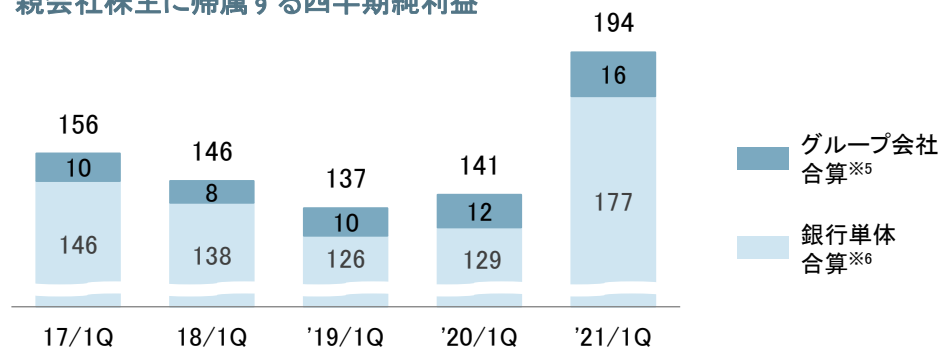


### 銀行・グループ会社による収益額の推移

銀行合算 コア業務純益<sup>※4</sup> + グループ5社営業利益<sup>※5</sup> (億円)



親会社株主に帰属する四半期純利益 (億円)



※2 投信解約損益除くコア業務粗利益ベース

※3 投信解約損益およびシステム統合費用除くコア業務粗利益ベース

※4 投信解約損益を除く

※5 めぶきリース、めぶき証券、めぶき信用保証、常陽信用保証、めぶきカードの合算(前身を含む)

※6 銀行子会社から銀行への配当額を除いて算出。

# 2021年度第1四半期 決算概要資料 (2021年8月5日公表)

# 貸出金(1) 末残

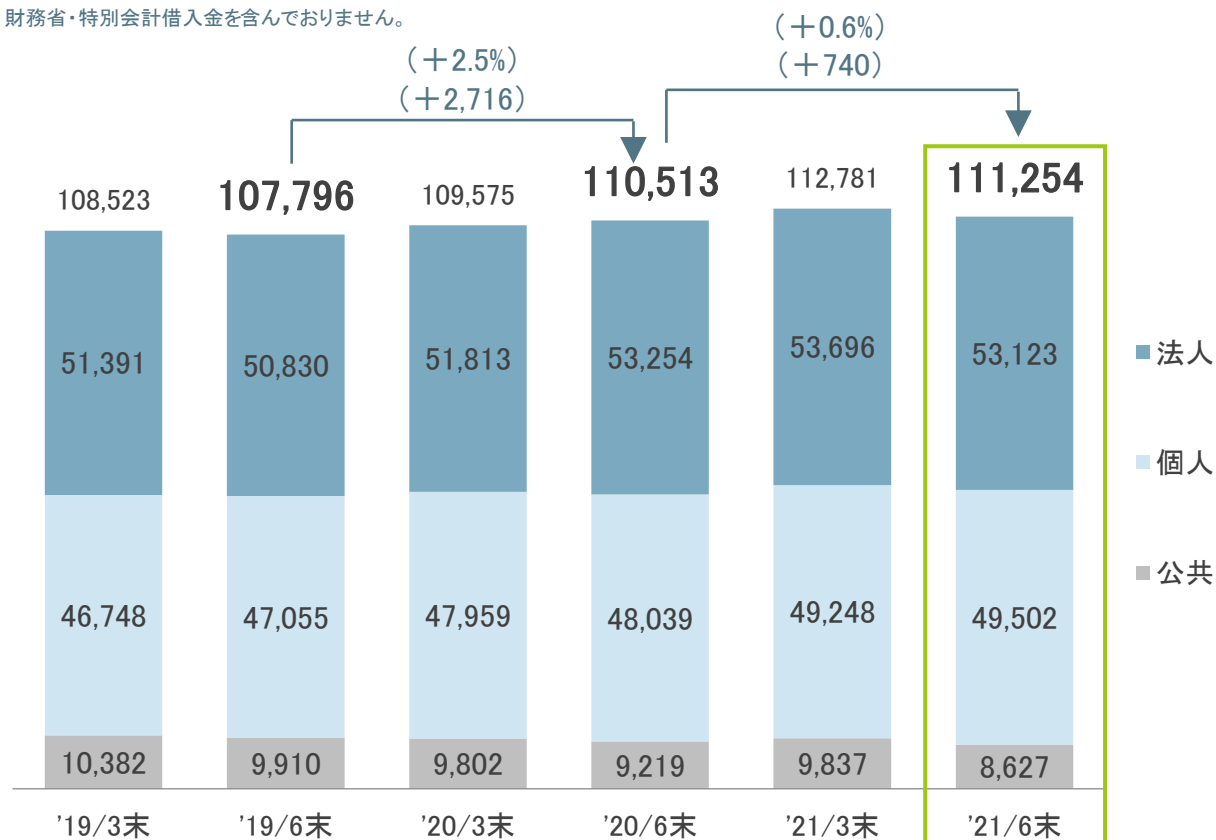
貸出金末残は、前年同期比+740億円(年率+0.6%)。

個人貸出金は住宅ローン、無担保ローンを中心に、前年同期比+1,462億円(年率+3.0%)。

法人貸出金は、新型コロナ関連融資の一巡もあり、前年同期比△130億円(年率△0.2%)

## 貸出金末残・銀行合算(億円)

\* 財務省・特別会計借入金を含んでおりません。



## 末残増減・前年同期末比(億円)

	19/6末	20/6末	21/6末
全体	+2,518 +2.3%	+2,716 +2.5%	+740 +0.6%
法人	+1,577 +3.2%	+2,423 +4.7%	△130 △0.2%
個人	+1,846 +4.0%	+984 +2.0%	+1,462 +3.0%
公共	△906 △8.3%	△691 △6.9%	△591 △6.4%

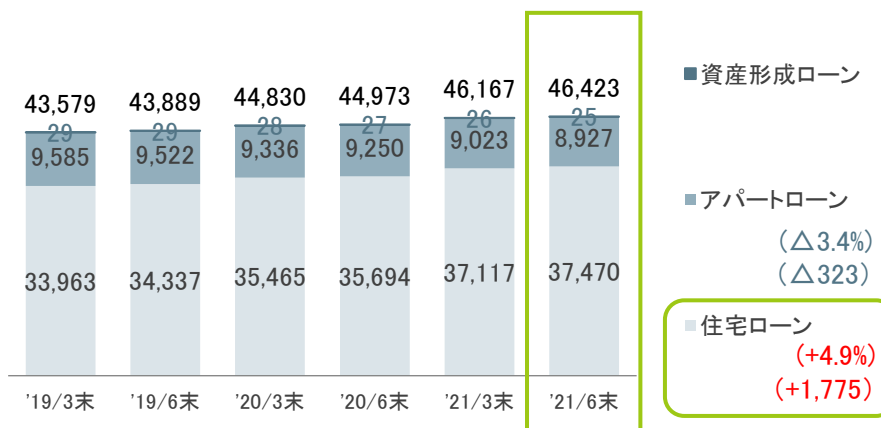
(参考)「財務省・特別会計借入金」向け貸出金

期末	(19/3末)	(19/6末)	(20/3末)	(20/6末)	(21/3末)	(21/6末)
貸出金	3,994億円	5,960億円	5,198億円	5,002億円	5,215億円	5,909億円

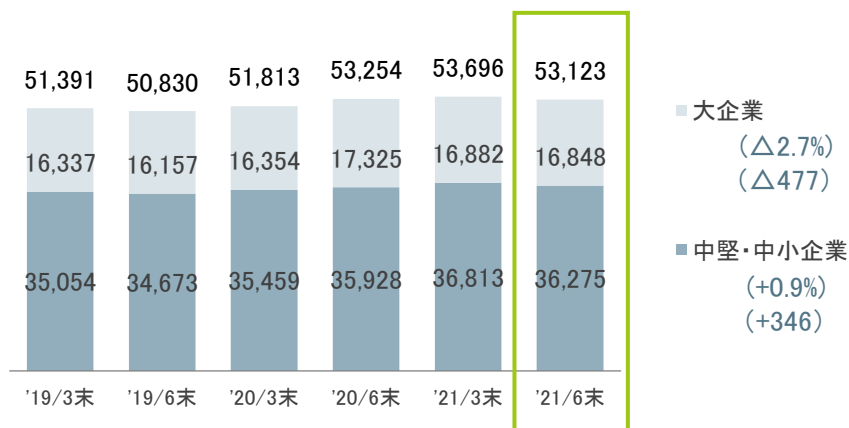
# 貸出金(2) 個人・法人貸出金

個人貸出金の増加は、住宅ローン(前年同期比+1,775億円)、マイカーローン(同+126億円)が牽引。  
法人貸出金は、新型コロナ関連融資の一巡に伴い都内・大企業が減少。

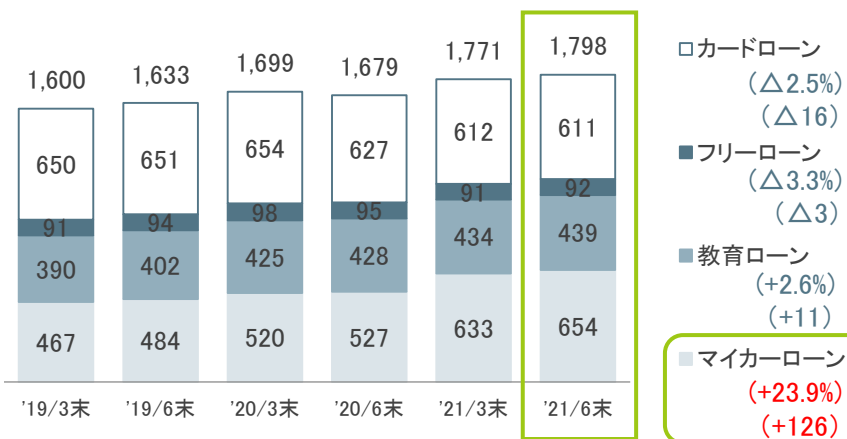
### 【個人】住宅関連ローン末残(億円)



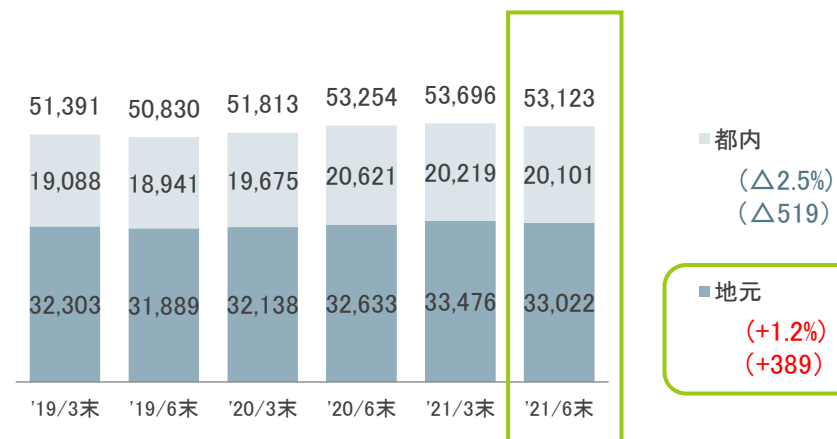
### 【法人】企業規模別末残(億円)



### 【個人】無担保ローン末残(億円)



### 【法人】地域別末残(億円)



# 貸出金利回り・資金利益

貸出金利回りは低下したものの、国内の利回り低下幅は半減。(2020/1Q:  $\Delta 3.9\text{bp}$   $\rightarrow$  2021/1Q:  $\Delta 1.9\text{bp}$ )

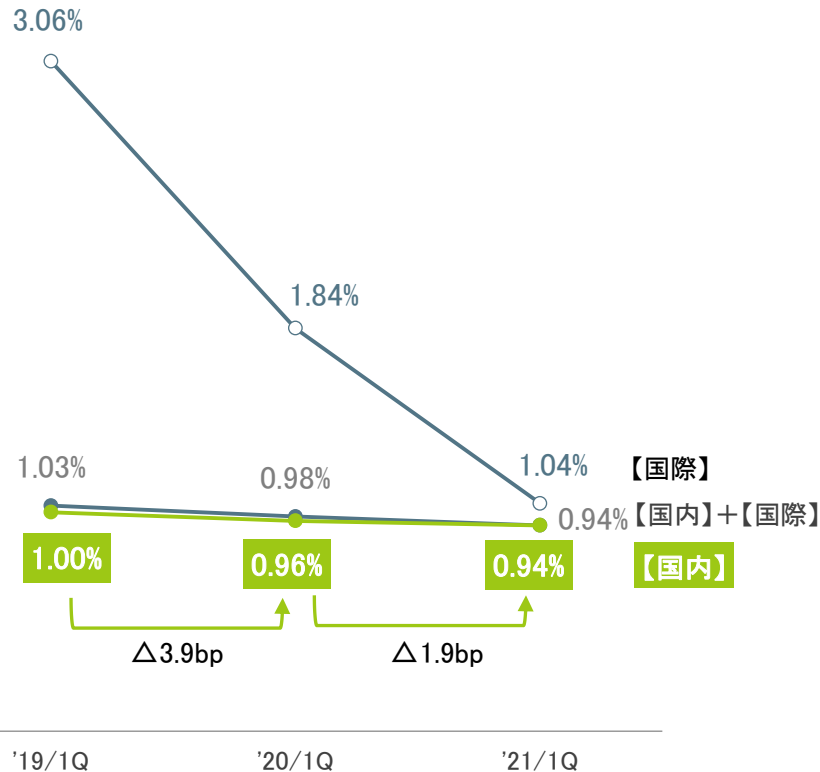
預貸金利息差は、預金利息(主に外貨)の減少もあり、横ばい。

有価証券運用も含めた資金利益(除く投信解約損益)は、市場調達費用等の減少を主因に同+17億円。

## 貸出金利回り・銀行合算

(国内+国際)

\* 財務省・特別会計借入金を含んでおりません。



## 資金利益の増減要因・銀行合算(億円)

\* 貸出金利の増減要因には、財務省・特別会計借入金を含んでおりません。

\* カッコ内は前年同期比の増減

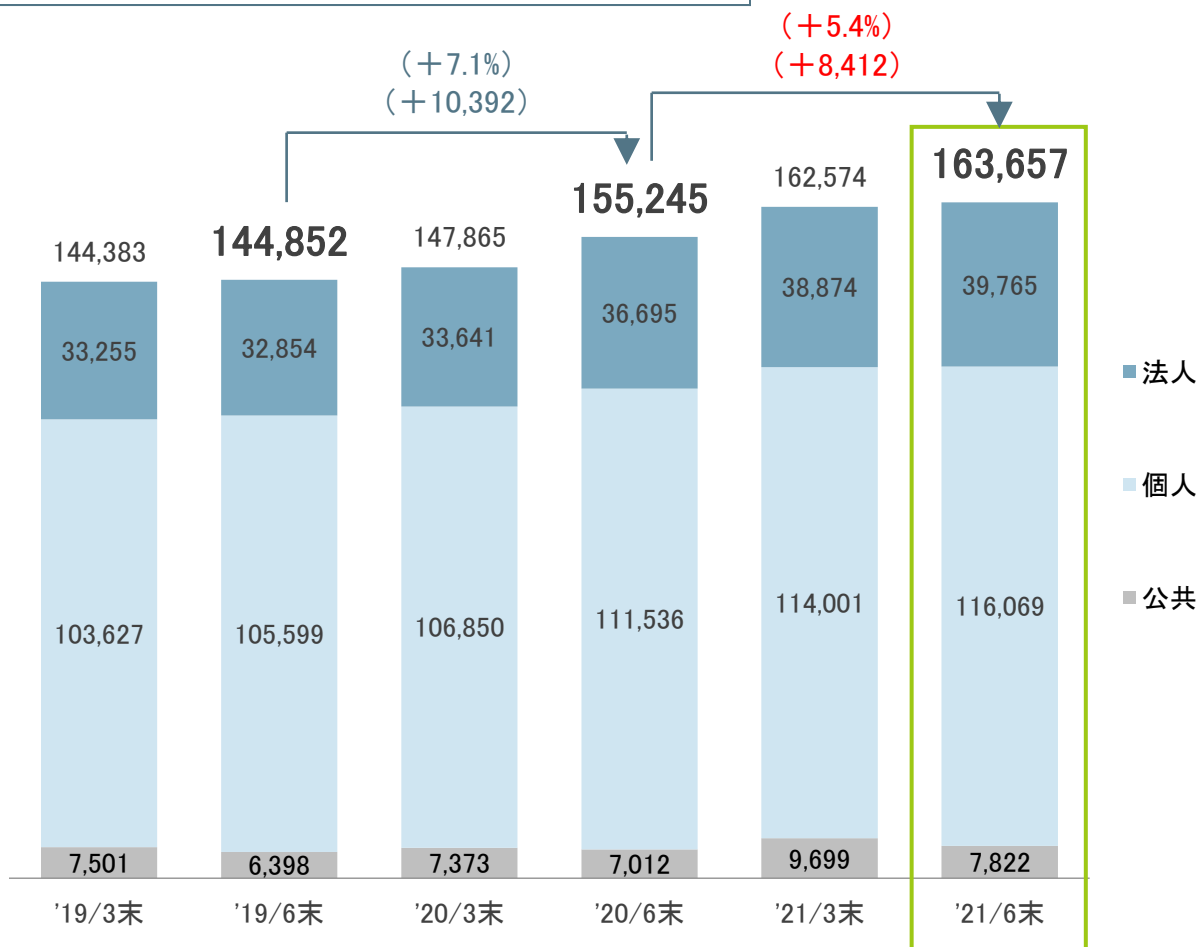
	実績	前年同期比				
		(要因)	(国内)	平残・利回り 変化	(国際)	平残・利回り 変化
貸出金利息		平残	+5	+5 (平残+2,176億円)	+0	+0 (平残+27億円)
		利回り	$\Delta 9$	$\Delta 5$ (利回り $\Delta 1.9\text{bp}$ )	$\Delta 4$	$\Delta 4$ (利回り $\Delta 79.3\text{bp}$ )
	<b>264</b>		$\Delta 4$	$\Delta 0$	—	—
預金支払利息( $\Delta$ )	<b>1</b>		$\Delta 4$	$\Delta 1$	—	$\Delta 3$
					$\Delta 3$	—
<b>預貸金利息差</b> ①	<b>263</b>		<b>+0</b>	<b>+1</b>	—	<b><math>\Delta 0</math></b>
有価証券利息配当金		平残	+5	+0 (平残+315億円)	+5	+5 (平残+1,127億円)
		利回り	$\Delta 2$	+0 (利回り+0.6bp)	$\Delta 2$	$\Delta 2$ (利回り $\Delta 15.1\text{bp}$ )
	<b>119</b>		<b>+3</b>	<b>+1</b>	—	<b>+2</b>
(うち投信解約損益)	<b>3</b>		<b>+1</b>	<b>+1</b>	—	<b>+0</b>
有価証券利息配当金 (除く投信解約損益)	<b>116</b>		<b>+2</b>	<b>+0</b>	—	<b>+2</b>
市場調達費用等( $\Delta$ )	$\Delta 1$		$\Delta 14$	$\Delta 5$	—	$\Delta 9$
<b>有価証券等収支</b> (除く投信解約損益) ②	<b>117</b>		<b>+17</b>	<b>+5</b>	—	<b>+11</b>
<b>資金利益</b> (除く投信解約損益) ①+②	<b>380</b>		<b>+17</b>	<b>+6</b>	—	<b>+10</b>



# 預金 末残

預金残高は、前年同期末比+8,412億円(年率+5.4%)。  
法人・個人・公共ともに増加基調が継続。

預金末残・銀行合算(億円)



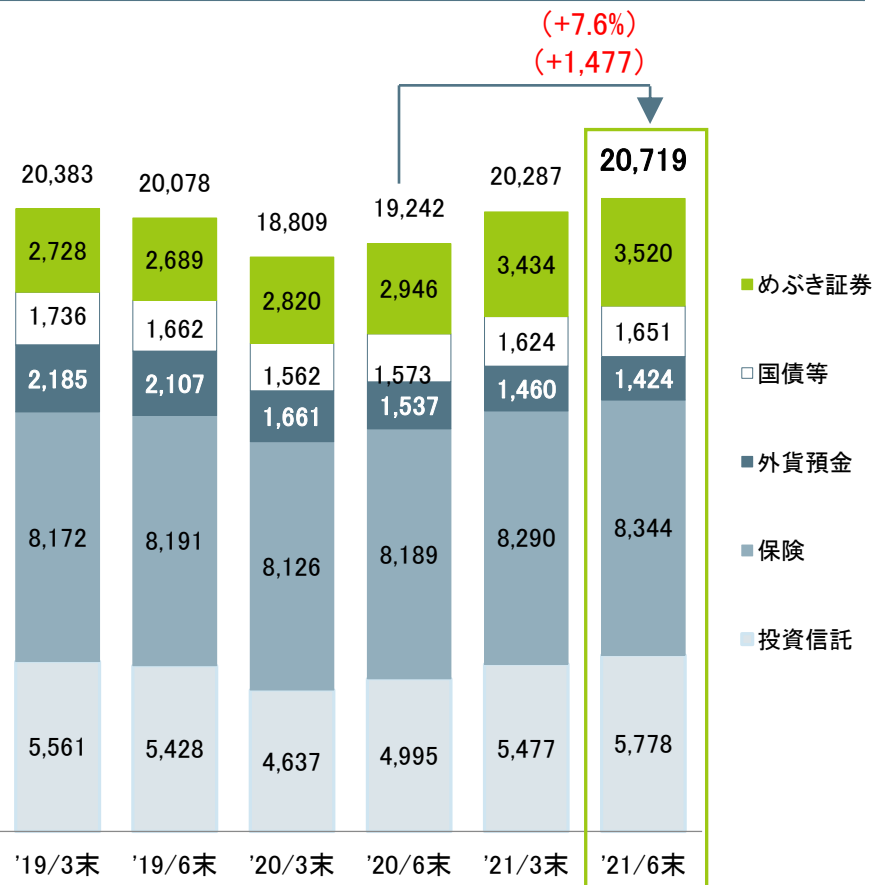
末残増減・前年同期末比(億円)

	19/6末	20/6末	21/6末
全体	+3,046 +2.1%	+10,392 +7.1%	+8,412 +5.4%
法人	+672 +2.0%	+3,841 +11.6%	+3,069 +8.3%
個人	+2,509 +2.4%	+5,937 +5.6%	+4,533 +4.0%
公共	△135 △2.0%	+614 +9.6%	+809 +11.5%

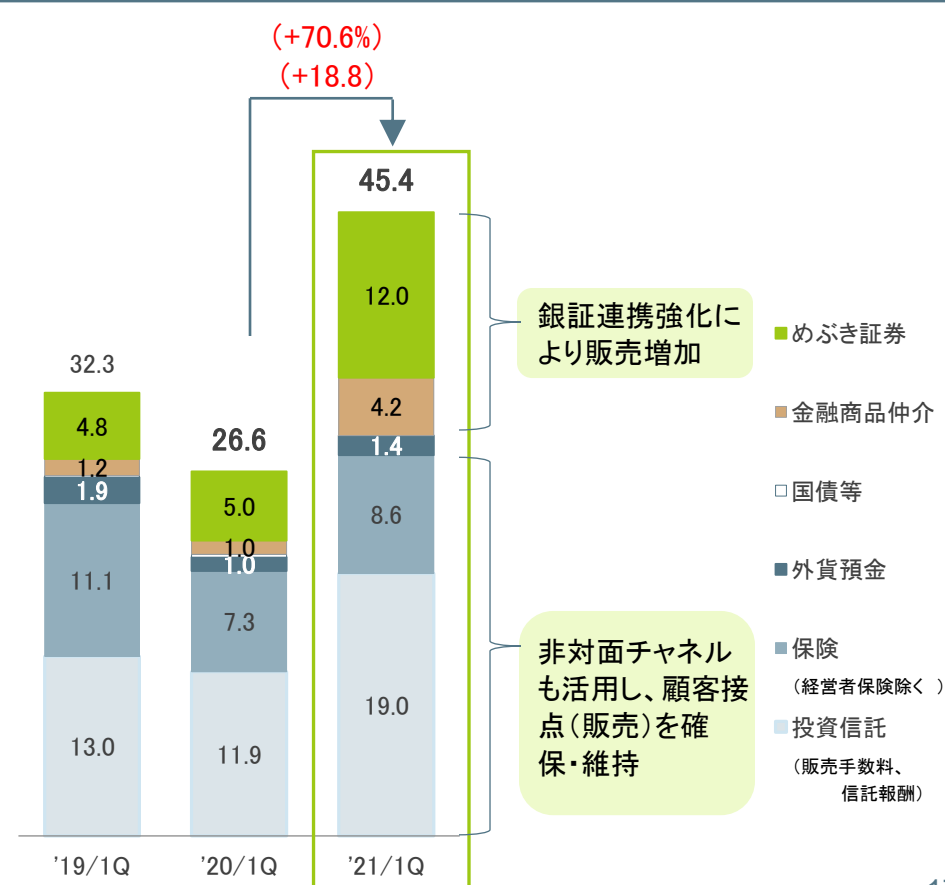
# 預り資産

個人向けコンサルティングの活動レベルの引き上げ、銀証連携の強化を背景に、預り資産販売が増加。  
 預り資産関連手数料は、めぶき証券および銀行本体での投資信託販売を中心に拡大。  
 特に、金融商品仲介手数料額は、これまでの銀証連携強化を受けめぶきFG発足来の最高水準。

預り資産残高(銀行・証券合算)(億円)



預り資産関連手数料(銀行・証券合算)(億円)

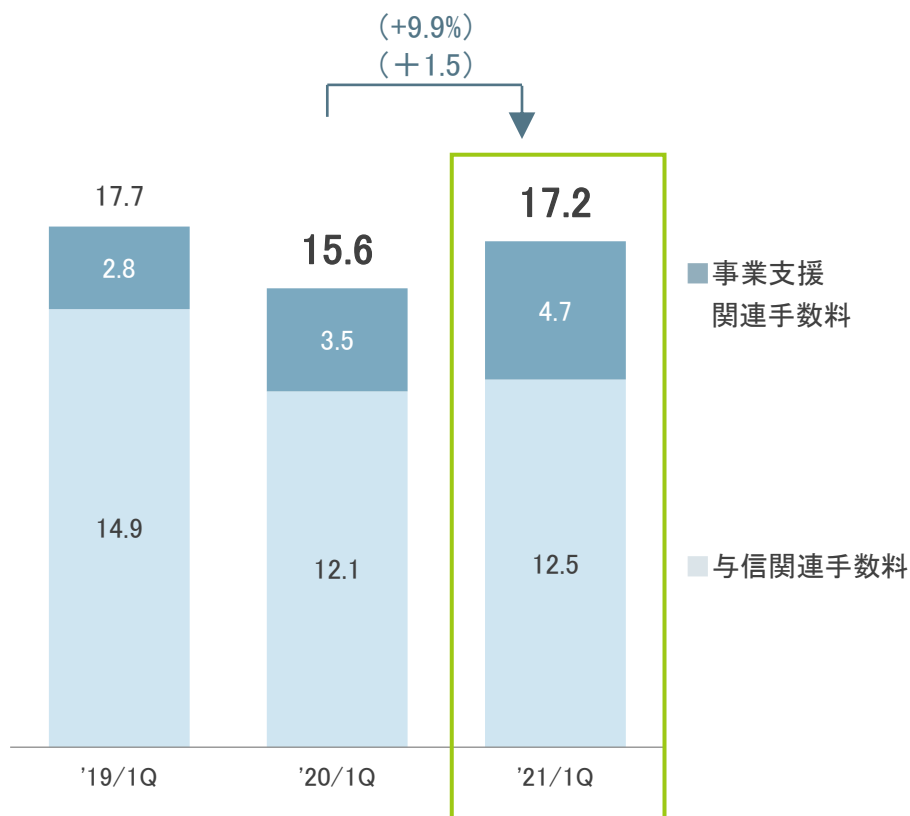


# 法人役務

法人役務手数料は、前年同期比+1.5億円(年率+9.9%)。

コロナ禍が長期化するなか、ビジネスマッチング等を中心に事業支援関連手数料が増加。

法人役務手数料・銀行合算(億円)



## <法人役務手数料の内訳>

	'19年度 1Q	'20年度 1Q	'21年度 1Q	前年 同期比
<b>与信関連手数料(①)</b>	<b>14.9</b>	<b>12.1</b>	<b>12.5</b>	<b>+0.3</b>
デリバティブ	1.7	0.4	2.4	+2.0
シ・ローン等	10.0	8.7	7.4	△1.2
私募債	3.1	2.9	2.5	△0.4
<b>事業支援関連手数料(②)</b>	<b>2.8</b>	<b>3.5</b>	<b>4.7</b>	<b>+1.2</b>
ビジネスマッチング等	1.1	0.9	2.5	+1.5
M&A	0.5	1.3	0.7	△0.6
経営者保険	0.6	0.8	1.0	+0.1
信託・401K	0.4	0.3	0.4	+0.1
<b>法人役務合計(①+②)</b>	<b>17.7</b>	<b>15.6</b>	<b>17.2</b>	<b>+1.5</b>

### 【ビジネスマッチング等】

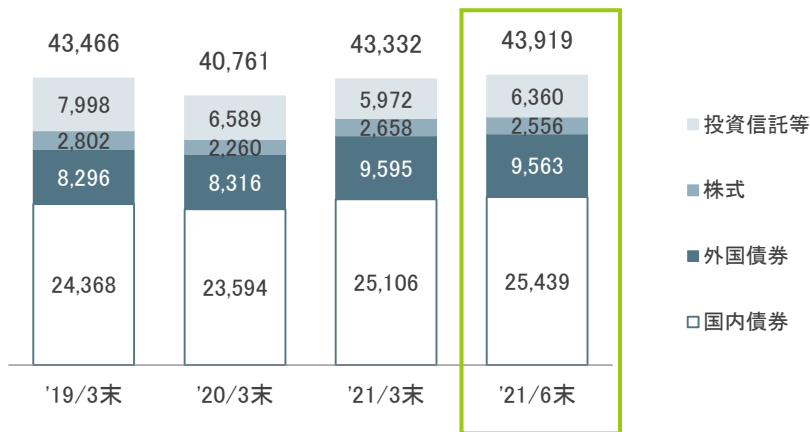
- コロナ禍における顧客の課題に対応。  
販路や仕入れ先拡大にかかるビジネスマッチング・コンサルティング  
や財務改善支援等を実施。

# 有価証券運用・政策保有株式

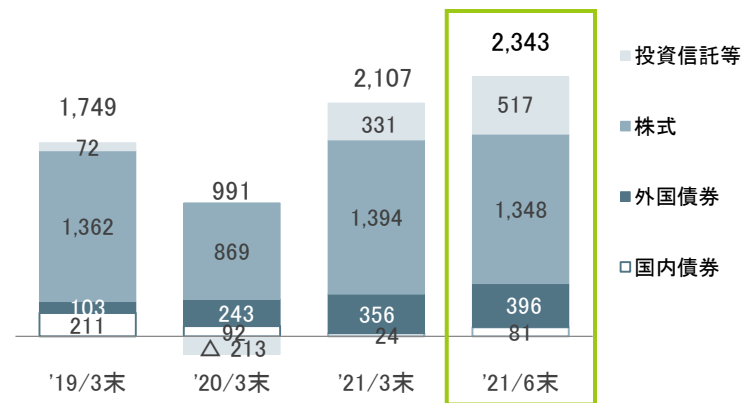
有価証券運用は市況動向を踏まえたリスクテイクを継続。評価損益は2,343億円まで拡大。  
 政策保有株式の縮減を進め、簿価残高<sup>※1</sup>は826億円、純資産に対する比率<sup>※2</sup>は18.6%にまで低下。

※1 上場株式の簿価残高 ※2 連結純資産に対する政策保有株式の貸借対照表計上額の比率

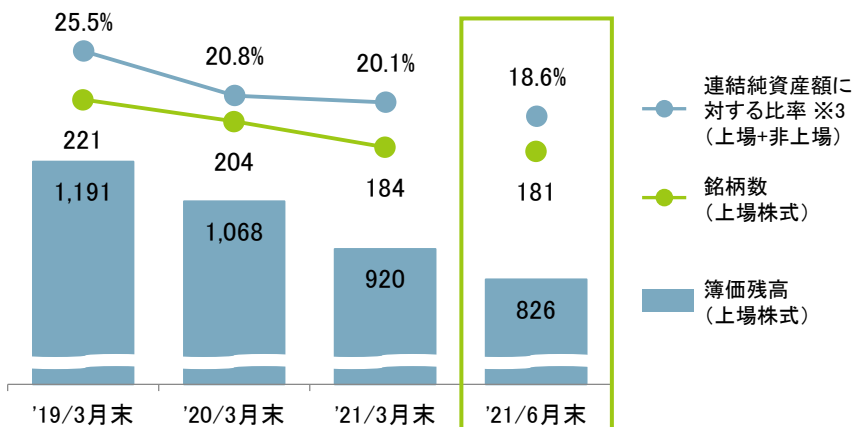
## 末残 (FG連結・貸借対照表計上額) (億円)



## 評価損益 (FG連結・その他有価証券) (億円)

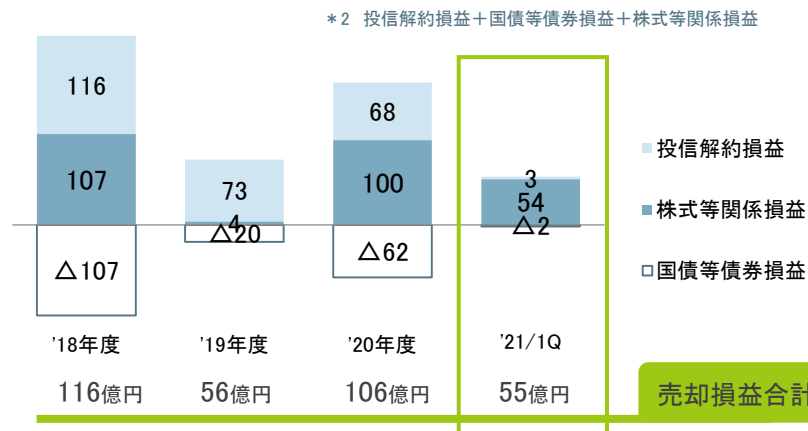


## 政策保有株式 (億円)



※3 連結純資産に対する政策保有株式の貸借対照表計上額の比率

## 有価証券売却損益<sup>(\*2)</sup> (銀行合算) (億円)



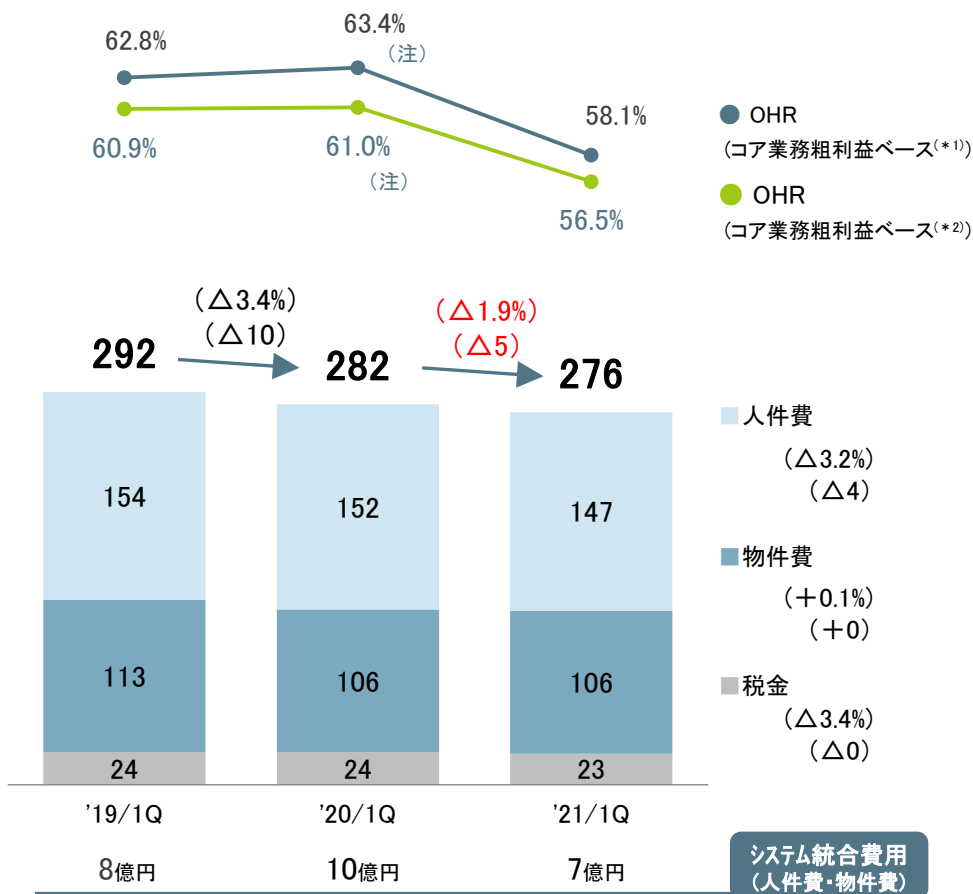
\*2 投信解約損益+国債等債券損益+株式等関係損益

売却損益合計

# 経費・OHR

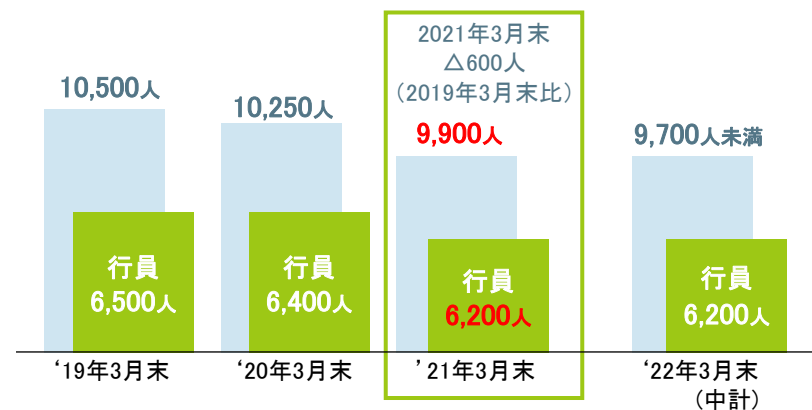
構造改革の前倒しにより、経費は前年同期比△5億円（年率△1.9%）。  
効率性を示すOHRも、60%を下回る水準を実現。

## 経費・OHR（銀行合算）（億円）



## <人件費のマイナス要因>

- 構造改革の前倒し実施により、2021年3月末の行員数（6,200人）は、中計スタート時（2019/3月末）から300人減少。中計を1年前倒しで達成。
- 2021年3月末の総人員（9,900人）は、2019/3月末から600人減少。2022年3月末の中計達成を見込む。



(注) 2020/1QのOHRは、新型コロナウイルス感染拡大による外訪自粛等の影響を受け、コア業務粗利益が減少となり、前年同期比上昇。

( \* 1 ) 投信解約損益除く

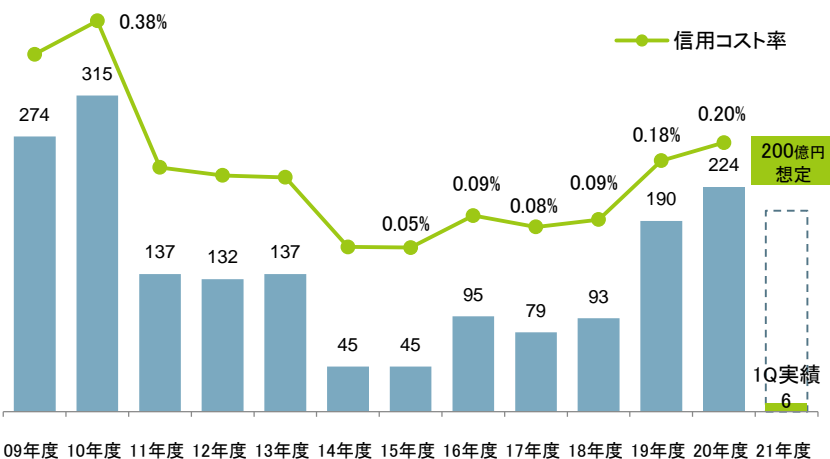
( \* 2 ) 投信解約損益およびシステム統合費用除く

# 信用コスト

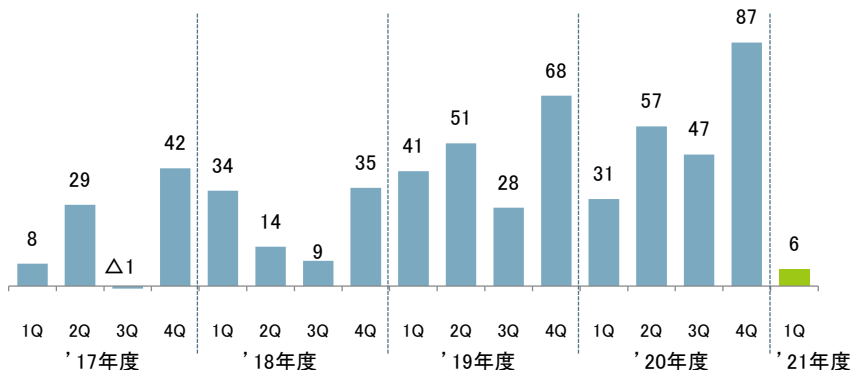
前年度の予防的な引当効果により、信用コストは落ち着いた状況。  
 ただし、足元では新型コロナ感染が再拡大するなど先行き不透明との見方から、現時点では年間の信用コストは200億円と見込む。

## 信用コストの推移(億円)

【年度】2009年度～



【四半期】2017年度～



## 信用コスト内訳(億円)

	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	前年同期比
与信関係費用	31	6	△24
一般貸倒引当金繰入額	10	0	△9
不良債権処理額	20	5	△15
貸出金償却	9	6	△2
個別貸倒引当金繰入額	14	3	△10
偶発損失引当金繰入額	△2	0	+2
償却債権取立益(△)	3	7	+3
その他	3	2	△0

## 新型コロナウイルス感染症の影響による貸出金条件変更

(2021年6月末累計)(債権者数:先、債権数:件)

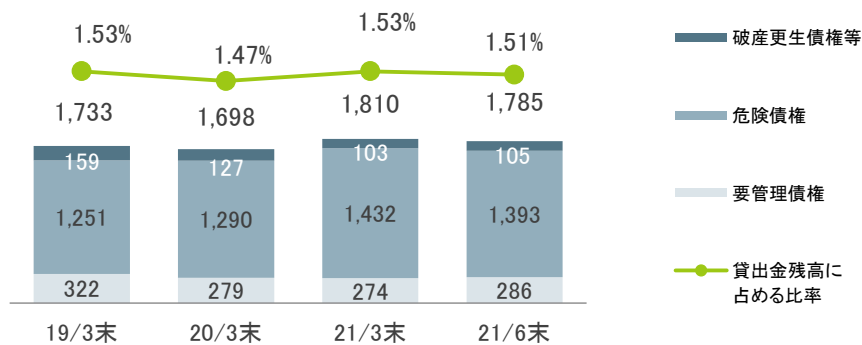
							累計	総債務者に 占める割合
		～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月		
事業性 貸出金	債権者数	925	382	358	271	335	2,271	4.0%程度
	債権数	2,659	1,440	1,739	1,549	2,446	9,833	
住宅 ローン	債務者数	293	140	90	99	104	726	0.3%程度
	債権数	329	148	124	128	152	881	

# 金融再生法開示債権・延滞貸出金

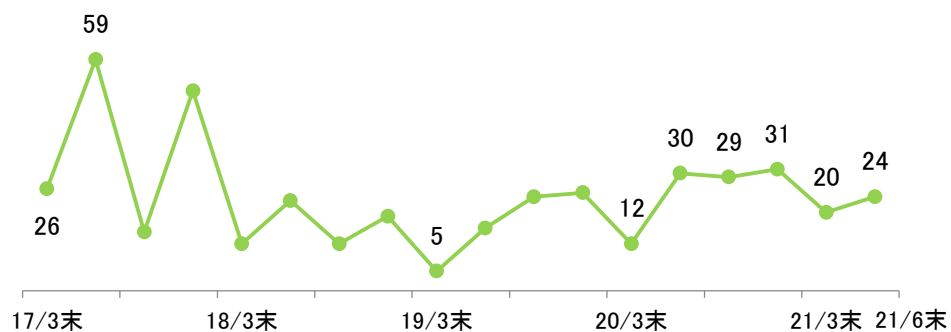
金融再生法開示債権は、債権残高・比率ともに2021年3月末から低下。

延滞貸出金は横ばい、企業倒産状況も落ち着いた動きが継続しているが、今後もコロナ禍の影響を注視していく。

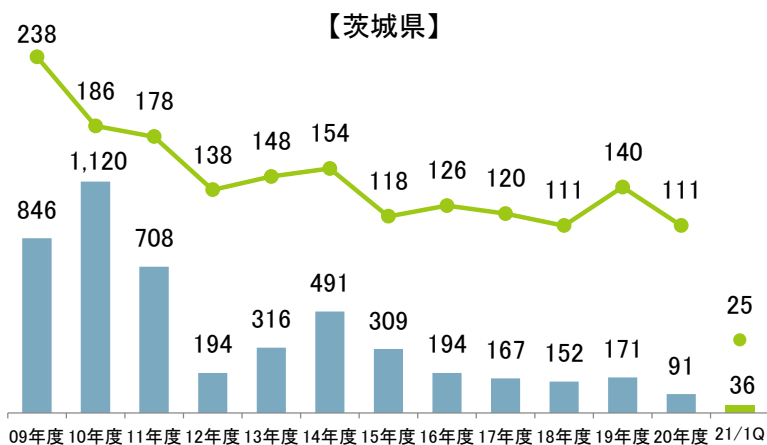
金融再生法開示債権 (FG連結) (億円)



延滞貸出金の状況 (事業性貸出金) (億円)



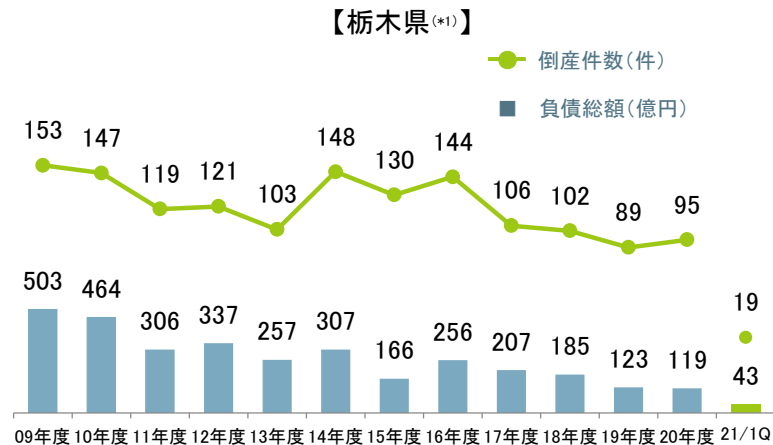
(参考) 企業倒産状況 倒産件数 (負債総額1000万円以上の倒産状況)・負債総額計数～東京商工リサーチ公表資料より



2019年度  
1Q(4-6月)  
29件  
22億円

2020年度  
1Q(4-6月)  
22件  
25億円

2021年度  
1Q(4-6月)  
25件  
36億円



2019年度  
1Q(4-6月)  
20件  
29億円

2020年度  
1Q(4-6月)  
20件  
21億円

2021年度  
1Q(4-6月)  
19件  
43億円

( \* 1 ) 2011年度の大口先(1先4,330億円)を除き記載。

# 配当／株主還元・自己資本比率

2021年度の年間配当は1株当たり11円を予定(2020年度と同水準)。

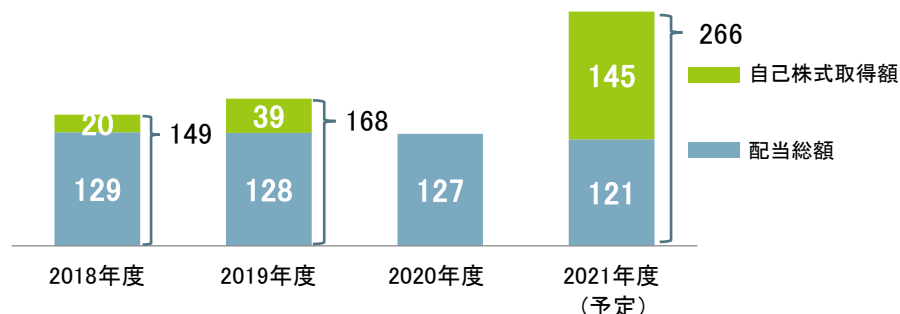
## 配当・還元方針

- グループとしての成長に向けた資本の確保と株主の皆さまへの適切な利益還元のバランスを考慮し、総還元性向<sup>(\*1)</sup> 30%以上を目安といたします。水準等については、引き続き検討してまいります。

(\*1) 総還元性向=(配当総額+自己株式取得総額)／親会社株主に帰属する当期純利益

## 配当・還元実績

- 2021年度は、1株当たり年間11.0円の配当を予定。



1株当たり年間配当額	11円	11円	11円	11円(予定)
配当性向	27.8%	35.3%	34.9%	31.8%
総還元性向	32.3%	46.2%	34.9%	70.0%

## 自己資本比率

	めぶきFG 連結	常陽銀行 連結	足利銀行 連結
2019/3月末	9.94%	11.91%	8.55%
2020/3月末*2	10.95%	12.22%	9.45%
2021/3月末	10.87%	12.18%	9.51%
2021/6月末	10.87%	12.34%	9.61%

(\*2) 足利銀行は2020年3月末より、自己資本比率算出上のリスクアセット計測において、FIRB(基礎的內部格付手法を採用しています)。



# 2021年度業績予想

## めぶきFG連結

(億円)

	2021年度 通期予想	2021年度 第1四半期実績	進捗率
経常利益	550	266	48.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	380	187	49.4%

## 銀行合算

(億円)

	2021年度 通期予想	2021年度 第1四半期実績	進捗率
経常利益	530	251	47.3%
当期純利益	365	177	48.7%
(信用コスト)	200	6	3.2%

## 銀行単体

(億円)

(常陽銀行)	2021年度 通期予想	2021年度 第1四半期実績	進捗率
経常利益	355	177	49.9%
当期純利益	245	126	51.4%

(億円)

(足利銀行)	2021年度 通期予想	2021年度 第1四半期実績	進捗率
経常利益	175	73	42.2%
当期純利益	120	51	43.1%

# (参考) 東京証券取引所の新市場区分について

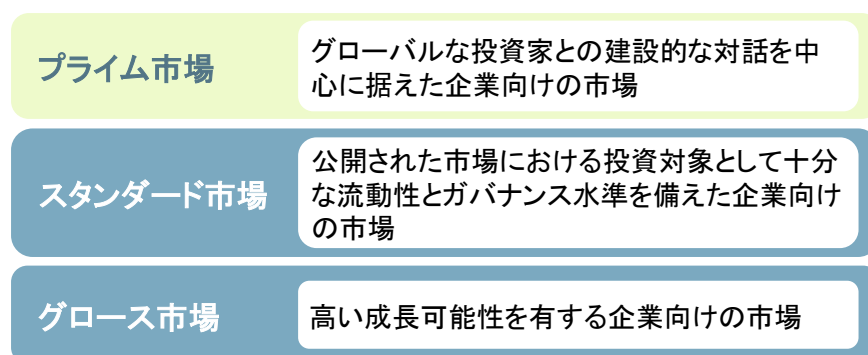
東京証券取引所が2022年4月に移行予定の新市場区分について、めぶきFGは「プライム市場」の上場維持基準に適合

## 市場区分見直しの概要

### 【現在の市場区分】



### 【見直し後の市場区分(2022年4月4日)】



## めぶきFGの状況

	プライム市場基準	めぶきFG ※
流通株式数	2 万単位以上	851 万単位
流通株式時価総額	100 億円以上	2,059 億円
流通株式比率	35 %以上	72 %
売買代金	1日平均売買代金 0.2億円以上	1日平均売買代金 12.9億円

※移行基準日(2021年6月30日)における上場維持基準への適合状況に関する東京証券取引所からの一次判定結果に基づく。

## 【参考】 計数編

## 【計数編】子銀行内訳

( 1 ) 2021年度第 1 四半期 P/L		( 億円 )					
	2行合算	前年同期比	常陽銀行	前年同期比	足利銀行	前年同期比	
業務粗利益	476	+29	279	+20	196	+9	
( コア業務粗利益 )	478	+32	281	+22	197	+10	
資金利益	383	+18	221	+11	162	+6	
うち投信解約損益	3	+1	3	+3	0	△1	
役務取引等利益	90	+12	57	+9	33	+2	
その他業務利益他	1	△0	0	△1	1	+0	
( うち国債等債券損益 )	△2	△2	△1	△1	△0	△0	
経費	276	△5	154	△3	121	△2	
うち人件費	147	△4	82	△1	64	△3	
うち物件費	106	+0	59	△1	47	+1	
実質業務純益	199	+35	124	+23	75	+11	
コア業務純益	202	+37	126	+25	75	+12	
コア業務純益 ( 除く投信解約損益 )	198	+36	123	+22	75	+14	
一般貸倒引当金繰入額 ( a )	0	△9	0	△4	△0	△5	
業務純益	198	+45	123	+27	75	+17	
臨時損益	52	+16	53	+27	△1	△11	
うち不良債権処理額 ( b )	5	△15	△3	△22	9	+7	
うち株式等関係損益	54	△5	47	+1	7	△6	
経常利益	251	+61	177	+55	73	+5	
特別損益	0	△23	0	+5	0	△29	
四半期純利益	177	+18	126	+43	51	△24	
信用コスト ( a)+(b)	6	△24	△2	△26	9	+1	

### ( 2 ) 貸出金利回り ( 財務省・特別会計借入金を除く )

		2018年度	2019年度	2020年度	2021/1Q	前年同期比	2020/1Q
2行合算	国内業務	1.03%	0.99%	0.96%	0.94%	△0.02%	0.96%
	国際業務	2.92%	2.67%	1.29%	1.04%	△0.79%	1.84%
	国内+国際	1.06%	1.02%	0.96%	0.94%	△0.03%	0.98%
常陽銀行	国内業務	1.00%	0.97%	0.93%	0.92%	△0.02%	0.94%
	国際業務	2.95%	2.69%	1.30%	1.04%	△0.81%	1.86%
	国内+国際	1.04%	1.01%	0.94%	0.92%	△0.04%	0.97%
足利銀行	国内業務	1.07%	1.02%	0.99%	0.97%	△0.02%	0.99%
	国際業務	2.67%	2.48%	1.19%	0.99%	△0.70%	1.70%
	国内+国際	1.08%	1.03%	0.99%	0.97%	△0.02%	1.00%

## 【計数編】子銀行内訳

### (3) 貸出金未残 (円貨+外貨)

(億円)

		2019/3末	2020/3末	2021/3末	2021/6末	前年同期比	2020/6末
2行合算	個人	46,748	47,959	49,248	49,502	+1,462	48,039
	法人	51,391	51,813	53,696	53,123	△130	53,254
	公共	10,382	9,802	9,837	8,627	△591	9,219
	合計	108,523	109,575	112,781	111,254	+740	110,513
常陽銀行	個人	25,702	26,246	26,877	26,968	+681	26,287
	法人	29,743	30,026	31,030	30,799	△186	30,986
	公共	6,507	6,128	5,627	5,444	△706	6,151
	合計	61,953	62,401	63,536	63,213	△211	63,424
足利銀行	個人	21,046	21,713	22,370	22,533	+780	21,752
	法人	21,648	21,786	22,665	22,324	+56	22,267
	公共	3,875	3,674	4,209	3,183	+115	3,067
	合計	46,570	47,173	49,245	48,040	+952	47,088

\* 財務省・特別会計借入金を含んでおりません。

### うち外貨貸出金

(億円)

		2019/3末	2020/3末	2021/3末	2021/6末	前年同期比	2020/6末
2行合算		1,458	1,642	1,626	1,618	△34	1,652
常陽銀行		1,268	1,468	1,500	1,492	+12	1,480
足利銀行		190	173	126	126	△46	172

### (4) 住宅関連口ーン未残

(億円)

		2019/3末	2020/3末	2021/3末	2021/6末	前年同期比	2020/6末
2行合算	住宅口ン	33,963	35,465	37,117	37,470	+1,775	35,694
	7年・10年口ン	9,585	9,336	9,023	8,927	△323	9,250
	資産形成口ン	29	28	26	25	△2	27
	合計	43,579	44,830	46,167	46,423	+1,449	44,973
常陽銀行	住宅口ン	16,406	17,195	18,097	18,272	+924	17,348
	7年・10年口ン	7,691	7,486	7,228	7,153	△269	7,422
	資産形成口ン	29	28	26	25	△2	27
	合計	24,127	24,711	25,351	25,451	+652	24,799
足利銀行	住宅口ン	17,557	18,269	19,020	19,197	+851	18,346
	7年・10年口ン	1,893	1,850	1,795	1,773	△54	1,828
	資産形成口ン	-	-	-	-	-	-
	合計	19,451	20,119	20,815	20,971	+796	20,174

### (5) 無担保口ーン未残

(億円)

		2019/3末	2020/3末	2021/3末	2021/6末	前年同期比	2020/6末
2行合算	マイ口ン	467	520	633	654	+126	527
	教育口ン	390	425	434	439	+11	428
	7年口ン	91	98	91	92	△3	95
	カード口ン	650	654	612	611	△16	627
合計	1,600	1,699	1,771	1,798	+118	1,679	
常陽銀行	マイ口ン	322	352	454	469	+109	359
	教育口ン	319	340	343	346	+5	340
	7年口ン	22	35	36	37	+1	36
	カード口ン	265	260	237	234	△10	244
合計	930	988	1,071	1,087	+105	981	
足利銀行	マイ口ン	145	168	178	185	+17	168
	教育口ン	70	85	91	93	+5	87
	7年口ン	68	62	54	55	△4	59
	カード口ン	384	394	375	376	△5	382
合計	669	710	700	710	+12	698	

### (6) 法人貸出金・企業規模別

(億円)

		2019/3末	2020/3末	2021/3末	2021/6末	前年同期比	2020/6末
2行合算	大企業	16,337	16,354	16,882	16,848	△477	17,325
	中堅・中小企業	35,054	35,459	36,813	36,275	+346	35,928
	合計	51,391	51,813	53,696	53,123	△130	53,254
常陽銀行	大企業	11,591	11,651	12,206	12,210	△218	12,428
	中堅・中小企業	18,151	18,374	18,823	18,589	+31	18,557
	合計	29,743	30,026	31,030	30,799	△186	30,986
足利銀行	大企業	4,745	4,702	4,676	4,637	△258	4,896
	中堅・中小企業	16,902	17,084	17,989	17,686	+315	17,371
	合計	21,648	21,786	22,665	22,324	+56	22,267

### (7) 法人貸出金・地域別

(億円)

		2019/3末	2020/3末	2021/3末	2021/6末	前年同期比	2020/6末
2行合算	都内	19,088	19,675	20,219	20,101	△519	20,621
	地元	32,303	32,138	33,476	33,022	+389	32,633
	合計	51,391	51,813	53,696	53,123	△130	53,254
常陽銀行	都内	13,783	14,226	14,841	14,786	△223	15,010
	地元	15,960	15,799	16,189	16,012	+36	15,976
	合計	29,743	30,026	31,030	30,799	△186	30,986
足利銀行	都内	5,305	5,448	5,378	5,314	△296	5,610
	地元	16,342	16,338	17,287	17,009	+352	16,657
	合計	21,648	21,786	22,665	22,324	+56	22,267

## 【計数編】子銀行内訳

(8) 預金未残 (円貨+外貨)

(億円)

		2019/3末	2020/3末	2021/3末	2021/6末	前年同期比	2020/6末
2行合算	個人	103,627	106,850	114,001	116,069	+4,533	111,536
	法人	33,255	33,641	38,874	39,765	+3,069	36,695
	公共	7,501	7,373	9,699	7,822	+809	7,012
	合計	144,383	147,865	162,574	163,657	+8,412	155,245
常陽銀行	個人	64,401	66,336	70,531	71,763	+2,519	69,244
	法人	18,354	18,803	21,365	21,654	+1,202	20,452
	公共	4,536	4,592	5,158	4,822	+512	4,309
	合計	87,291	89,731	97,055	98,240	+4,233	94,007
足利銀行	個人	39,225	40,514	43,469	44,305	+2,014	42,291
	法人	14,901	14,838	17,508	18,110	+1,867	16,242
	公共	2,965	2,781	4,541	3,000	+297	2,703
	合計	57,092	58,134	65,519	65,417	+4,178	61,238

うち外貨預金

(億円)

		2019/3末	2020/3末	2021/3末	2021/6末	前年同期比	2020/6末
2行合算		3,060	2,197	1,801	1,834	△78	1,913
常陽銀行		2,226	1,764	1,520	1,543	△121	1,665
足利銀行		833	432	280	290	+42	248

(9) 預り資産残高

(億円)

		2019/3末	2020/3末	2021/3末	2021/6末	前年同期比	2020/6末
グループ	投資信託	5,561	4,637	5,477	5,778	+782	4,995
	保険	8,172	8,126	8,290	8,344	+155	8,189
	外貨預金	2,185	1,661	1,460	1,424	△112	1,537
	国債等	1,736	1,562	1,624	1,651	+77	1,573
	めぶき証券	2,728	2,820	3,434	3,520	+574	2,946
合計	20,383	18,809	20,287	20,719	+1,477	19,242	
常陽銀行	投資信託	2,633	2,147	2,498	2,704	+419	2,284
	保険	4,656	4,719	4,885	4,926	+163	4,763
	外貨預金	1,355	1,229	1,179	1,134	△154	1,289
	国債等	1,185	1,041	1,082	1,106	+57	1,049
	合計	9,831	9,138	9,646	9,871	+485	9,385
足利銀行	投資信託	2,928	2,490	2,978	3,074	+362	2,711
	保険	3,515	3,406	3,405	3,418	△8	3,426
	外貨預金	829	432	280	290	+42	248
	国債等	550	521	542	544	+20	524
	合計	7,824	6,850	7,206	7,327	+417	6,910

(10) 預り資産関連手数料

(億円)

		2018年度	2019年度	2020年度	2021/1Q	前年同期比	2020/1Q
グループ	投資信託 <sup>*1</sup>	56.9	59.1	62.2	19.0	+7.1	11.9
	保険 <sup>*2</sup>	46.7	42.6	32.5	8.6	+1.3	7.3
	外貨預金	9.8	6.8	5.5	1.4	+0.3	1.0
	国債等	0.4	0.8	0.6	0.0	△0.1	0.2
	金融商品仲介	4.9	7.2	11.3	4.2	+3.1	1.0
	めぶき証券	19.4	29.8	37.0	12.0	+6.9	5.0
合計	138.4	146.6	149.3	45.4	+18.8	26.6	
常陽銀行	投資信託 <sup>*1</sup>	26.3	28.3	29.3	9.8	+4.4	5.4
	保険 <sup>*2</sup>	21.2	26.1	20.6	5.1	+0.4	4.6
	外貨預金	7.0	5.0	3.9	1	+0.1	0.8
	国債等	0.3	0.5	0.5	0	△0.1	0.1
	金融商品仲介	2.7	4.3	7.5	3.1	+2.5	0.5
	合計	57.7	64.4	62.0	19.1	+7.5	11.6
足利銀行	投資信託 <sup>*1</sup>	30.6	30.8	32.9	9.2	+2.7	6.5
	保険 <sup>*2</sup>	25.5	16.4	11.8	3.5	+0.8	2.7
	外貨預金	2.8	1.8	1.5	0.4	+0.2	0.2
	国債等	0.0	0.2	0.1	0.0	△0.0	0.0
	金融商品仲介	2.2	2.9	3.8	1.0	+0.5	0.4
	合計	61.2	52.2	50.2	14.3	+4.3	9.9

\* 1 : 販売手数料・信託報酬

\* 2 : 経営者保険を除く

(11) 法人役務取引手数料

(億円)

		2018年度	2019年度	2020年度	2021/1Q	前年同期比	2020/1Q
2行合算	与信関連	75.7	82.0	75.5	12.5	+0.3	12.1
	事業支援関連	20.2	14.4	18.8	4.7	+1.2	3.5
	合計	95.9	96.5	94.4	17.2	+1.5	15.6
常陽銀行	与信関連	41.4	42.4	40.3	6.8	+0.3	6.4
	事業支援関連	11.4	8.0	11.8	3.1	+0.8	2.3
	合計	52.8	50.5	52.1	9.9	+1.1	8.8
足利銀行	与信関連	34.2	39.5	35.2	5.6	+0.0	5.6
	事業支援関連	8.8	6.4	7.0	1.5	+0.3	1.1
	合計	43.0	46.0	42.2	7.2	+0.3	6.8

## 【計数編】子銀行内訳

( 12 ) 有価証券・未残 ( 貸借対照表計上額 ) ( 億円 )

	2019/3末	2020/3末	2021/3末	2021/6末	前年度末比
国内債券	24,368	23,594	25,106	25,439	+332
外国債券	8,296	8,316	9,595	9,563	△31
FG連結 株式	2,802	2,260	2,658	2,556	△101
投資信託等	7,998	6,589	5,972	6,360	+388
合計	43,466	40,761	43,332	43,919	+587
国内債券	18,124	17,467	18,220	18,626	+406
外国債券	5,132	5,053	5,955	5,947	△7
常陽銀行 株式	2,434	1,972	2,331	2,219	△112
投資信託等	4,567	3,881	3,739	4,015	+275
合計	30,259	28,374	30,246	30,808	+562
国内債券	6,109	6,003	6,791	6,720	△70
外国債券	3,163	3,263	3,640	3,615	△24
足利銀行 株式	724	642	391	400	+8
投資信託等	3,387	2,667	2,191	2,303	+112
合計	13,384	12,575	13,015	13,040	+25

( 13 ) 有価証券・評価損益 ( その他有価証券 ) ( 億円 )

	2019/3末	2020/3末	2021/3末	2021/6末	前年度末比
株式	1,362	869	1,394	1,348	△46
国内債券	211	92	24	81	+56
FG連結 投資信託等	72	△213	331	517	+185
外国債券	103	243	356	396	+39
合計	1,749	991	2,107	2,343	+235
株式	1,280	851	1,275	1,221	△54
国内債券	193	90	30	73	+42
常陽銀行 投資信託等	126	△83	260	392	+131
外国債券	104	128	150	167	+17
合計	1,705	987	1,717	1,854	+136
株式	284	208	250	258	+7
国内債券	157	115	85	92	+7
足利銀行 投資信託等	△23	△106	85	140	+54
外国債券	28	138	224	245	+21
合計	446	356	645	736	+91

( 14 ) 政策保有株式 ( 残高 ※上場・未上場含む ) ( 億円 )

	2019/3末	2020/3末	2021/3末	2021/6末	前年度末比
2行合算 残高	1,255	1,140	985	888	△97
常陽銀行 残高	1,107	997	847	750	△97
足利銀行 残高	148	143	138	138	△0

( 15 ) 有価証券売却損益 ( 億円 )

	2018年度	2019年度	2020年度	2021/1Q	前年同期比	2020/1Q
2行合算 国債等	△107	△20	△62	△2	△2	0
株式等	107	4	100	54	△5	59
投信解約益	116	73	68	3	+1	1
合計	116	56	106	55	△6	61
常陽銀行 国債等	△73	△9	△39	△1	△1	0
株式等	124	6	91	47	+1	46
投信解約益	16	52	49	3	+3	0
合計	67	48	101	48	+2	46
足利銀行 国債等	△33	△11	△23	△0	△0	0
株式等	△17	△1	9	7	△6	13
投信解約益	99	20	19	0	△1	1
合計	48	8	4	6	△9	15

## 【計数編】子銀行内訳

	2018年度	2019年度	2020年度	2021/1Q	前年同期比	2020/1Q
2行合算						
人件費	606	612	599	147	△4	152
物件費	461	467	434	106	+0	106
税金	73	70	68	23	△0	24
合計	1,141	1,150	1,101	276	△5	282
常陽銀行						
人件費	338	335	332	82	△1	84
物件費	277	268	247	59	△1	60
税金	38	38	37	13	△0	13
合計	653	642	617	154	△3	158
足利銀行						
人件費	268	276	266	64	△3	67
物件費	184	199	186	47	+1	45
税金	35	31	30	9	△0	10
合計	488	507	484	121	△2	123

	2018年度	2019年度	2020年度	2021/1Q	前年同期比	2020/1Q
2行合算	93	190	224	6	△24	31
常陽銀行	42	101	120	△2	△26	23
足利銀行	50	88	103	9	+1	7

	2019/3末	2020/3末	2021/3末	2021/6末	前年度末比
FG連結					
破産更正債権	159	127	103	105	+1
危険債権	1,251	1,290	1,432	1,393	△38
要管理債権	322	279	274	286	+11
合計	1,733	1,698	1,810	1,785	△25
常陽銀行					
破産更正債権	61	57	55	49	△5
危険債権	664	699	780	772	△8
要管理債権	175	125	130	133	+2
合計	902	882	967	955	△11
足利銀行					
破産更正債権	87	58	40	47	+7
危険債権	585	590	650	621	△29
要管理債権	147	154	144	153	+8
合計	819	802	835	822	△13

	2019/3末	2020/3末	2021/3末	2021/6末	前年同期比	2020/6末
2行合算	5	12	20	24	△6	30
常陽銀行	3	3	0	8	△2	10
足利銀行	2	9	20	16	△3	19



## 本件に関する問い合わせ先

### 株式会社めぶきフィナンシャルグループ経営企画部

TEL 029-233-1151(代表)

E-mail [ir@mebuki-fg.co.jp](mailto:ir@mebuki-fg.co.jp)

URL <https://www.mebuki-fg.co.jp/>

### ご注意

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の有価証券等の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部または一部は予告なしに修正または変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営を取巻く環境の変化などにより 実際の数値と異なる可能性があります。